

# φ 48 スモール DN タコメーターキット 12500RPM (レブインジケーター付)

## 取扱説明書

製品番号 05-05-0126

適応車種 ダックス 125 (JB04-1000001 ~)  
(JB06-1000001 ~)

### まえがき

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。  
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。  
◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

#### ☆ご購入前に必ずお読み下さい☆

- ◎この取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。  
取り付けに自信の無い方や、取り付けに必要な工具等をお持ちで無い場合は取り付け作業は行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。
- ◎当製品使用中に発生した事故、怪我、物品の破損等に関して如何なる場合においても弊社は賠償の責任を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎他社製品との組合せは保証対象外になりますのでご遠慮願います。
- ◎当製品を加工等された場合は保証の対象にはなりません。
- ◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。  
(説明書内で作業手袋未着用写真がある場合でも、作業時は作業手袋を着用して下さい。)
- ◎一度の走行距離が短い場合等、車両のバッテリーに十分な充電が行われない場合こまめにバッテリーの充電を行って下さい。  
又、保管期間がある場合は、バッテリーマイナス端子を取り外し、こまめに充電を行うか、弊社製バッテリーチャージャーで充電を行って下さい。(待機電流でバッテリー上がりの原因になります。)
- ◎専用ステーを取り付ける為、ノーマルメーターロアカバー又は、純正オプションロアカバーの一部加工が必要になります。予めご了承下さい。

#### ～特徴～

- ダックス 125 専用のタコメーターキットです。純正メーターの横に配置する為、非常に確認しやすいです。
- 車体専用のサブハーネスが付属しますので配線の加工も必要ありません。
- メーター本体にはφ 48 スモール DN タコメーター (ホワイト LED) を採用しています。
- 指針角度をデジタル信号 & 小型モーターが完全制御。指針保持力が高く、信頼性に優れた構造です。
- 純正オプションパーツのクロック & ギャポジションメーター :08E70-K0F-JF0 と同時装着可能。

### ご使用上の注意点

社外品の H. I. D. キット、他社製 LED ヘッドライトやフォグランプ類は、絶対に同時装着しないで下さい。  
バラスト / インバーター (電圧変換装置) からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る物があり、製品故障や動作不良の原因となります。

当製品は、DC12V 専用です。

社外品の点火装置 (イグニッションコイルやプラグコード) も点火電圧のアップに伴う悪影響ノイズの増大により故障の原因となりますので取り付けしないで下さい。

充電力の不足している社外品の発電装置は、バッテリー電圧の低下、制御電圧の不具合により故障の原因となる可能性がありますので取り付けしないで下さい。

#### [ヘッドライト OFF での走行禁止]

ヘッドライト常時点灯車を安易な改造 (断線させるだけ) によりライト OFF 状態にして走行すると消費されない電力が車体全体の電圧を上げてしまいます。そのまま走行を続けると、過充電によるバッテリーの劣化や過度の負担により純正レギュレーターが故障してしまう可能性があります。

ノーマルよりも高いエンジン回転数で走行するエンジン改造車では、悪影響がより強くなります。

ヘッドライトが球切れしてしまった場合は、直ちに走行を止めるか、どうしても走行する必要がある場合はハイビームに切り替えて (光軸も調整して) 下さい。この時、なるべく低回転で走行して下さい。

進入した湿気が出て行くように湿気抜きを本体裏面に設けております。洗車時など、メーター底面に直接水を吹付けないように注意して下さい。

また、湿度の高い状態に置きますと本体内部に湿気が浸入し画面がくもってしまう可能性があります。

株式会社 スペシャルパーツ 大川 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16  
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

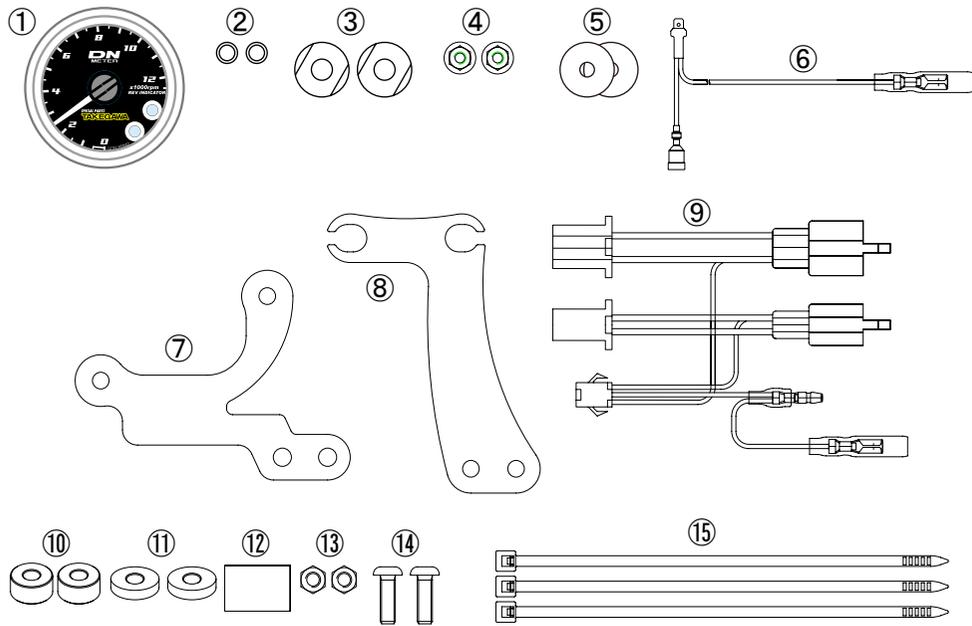
**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、必ず冷間時 (エンジンやマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品破損・ケガの原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術、知識のない方は作業を行わない下さい。(技術、知識不足等による作業ミスで、部品破損により事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備を行った際、損傷部品が見つかった場合、その部品を再使用せず損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落等で、事故につながる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 点検や整備を行う際は、当取扱説明書やサービスマニュアル等に記載されている、要領、手順に従ってください。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 指定した部品以外の部品使用は、一切行わないで下さい。(部品破損により事故につながる恐れがあります。)

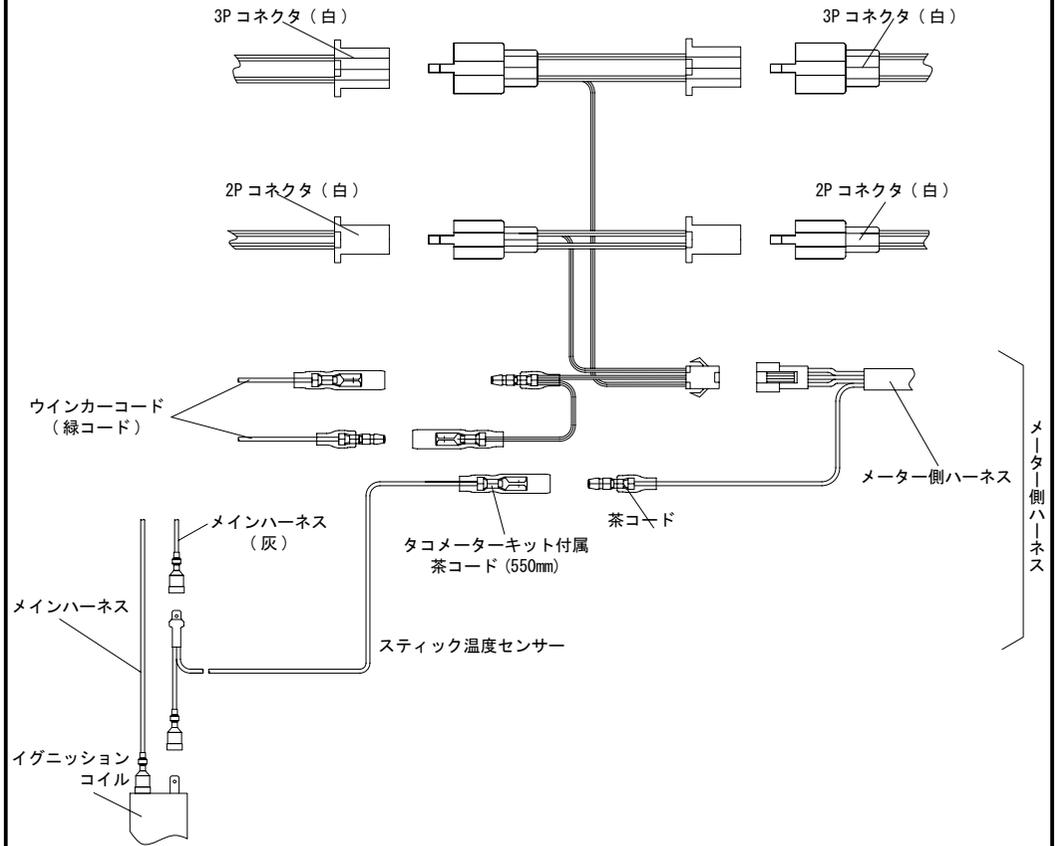
- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。  
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。



番号	部品名	個数	リペア品番
1	メーター本体	1	_____
2	クッションカラー	2	_____
3	クッションラバー	2	_____
4	フランジナット M4	2	00-00-0398 (10ヶ入り)
5	ブレンワッシャ M4 用	2	00-05-0086 (10ヶ入り)
6	RPMコード B (550mm) IG 接続用	1	00-05-0371
7	φ 48mm メーターステー 1 (R)	1	_____
8	φ 48mm メーターステー 2	1	_____
9	タコメーターサブコード COMP.	2	_____
10	カラー (ブラック)	2	_____
11	スペーサー 5mm/3.0	2	_____
12	ラバープレート (両面テープ付き)	1	00-00-0945
13	六角ナット 5mm	2	00-00-2569 (10ヶ入り)
14	ボタンヘッドソケットスクリュー 5x16	2	_____
15	結束バンド 150mm (黒)	3	00-00-0135 (10ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。  
 品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。  
 尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませ  
 お願い致します。  
 ※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合があります。  
 使用につきましては問題ございません。予めご了承下さい。  
 ※イラストは車両に取り付けに必要な部品のみ記載しています。記載のない部品は使用しません。

配線接続図

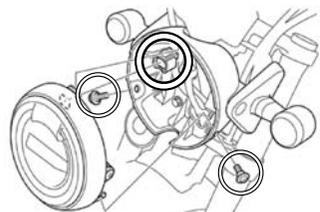


※ RPM コードはイグニッションコイルのボディーに干渉しない事。

**注意**  
 本取扱説明書中のコード色表記は、ベース色 / ライン色としています。  
 黒 / 白という表記のコードは、黒色の被覆に白色のラインが入っているコードを表します。

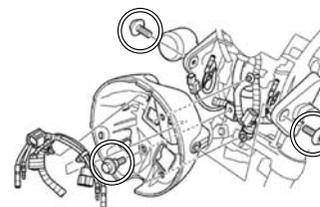
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

- 車両をメンテナンススタンド等で安定させて作業を行って下さい。
- リアシートを開けバッテリーケースカバーを取り外し、マイナス端子を取り外します。
- ヘッドライトユニット下部のボルト左右2本を取り外します。
- ヘッドライトユニットのコネクターの接続を外します。

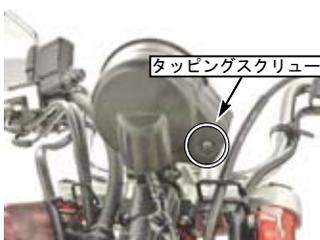


- ヘッドライトケースを固定しているソケットキャップボルト左右2本とケース内のフランジボルト6mmを取り外し、メーターロアカバーを取り外す為にヘッドライトケースを少し移動させます。

▲注意：ヘッドライトケースを移動する際は、ハーネスに無理な力が掛からない様に注意して下さい。



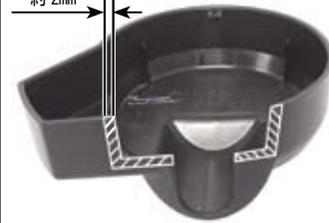
- 純正メーターロアカバーを固定しているタッピングスクリューを取り外し、メーターロアカバーを取り外します。



- 写真を参考に⑦Φ48mmメーターステー1を取り付ける為、メーターロアカバーの加工をします。カッターナイフ等で指定箇所をカットします。

※怪我をしない様に十分注意し作業を行って下さい。

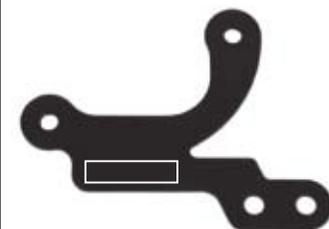
斜線部幅  
約2mm



- ノーマルメーターを固定しているタッピングスクリューとワッシャを取り外し、メーターコネクターの接続を外します。
- ※ノーマルのワッシャ2個は再利用しません。

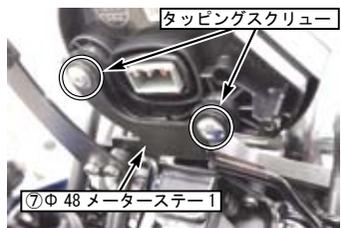


- ⑦Φ48mmメーターステー1に写真を参考に⑫ラバープレート貼り付けます。ノーマルメーターステーに⑫ラバープレートが当たる位置に配置します。



- 写真を参考にノーマルワッシャを取り外した箇所に⑦Φ48mmメーターステー1を配置し、ノーマルタッピングスクリューを規定トルクで固定し、メーターコネクターを接続します。

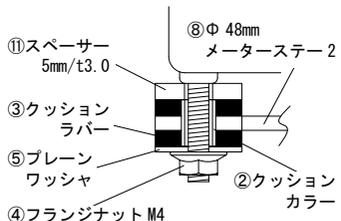
▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
タッピングスクリュー  
トルク：1.0N・m (0.1kgf・m)



- 先程加工したメーターロアカバーを仮付けし、⑦Φ48mmメーターステー1に干渉していないか確認します。メーターロアカバーをメーターに取り付け、タッピングスクリューを固定します。

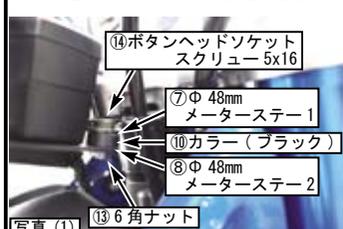


- タコメーターキット付属品のパーツを使用し、⑧Φ48mmメーターステー2に①タコメーター本体、⑩スペーサー5mm/t3.0、③クッションラバー、②クッションカラー、⑤ブレンワッシャ、④フランジナットM4の順に、図を参考に取り付けます。



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

- 写真(1)を参考に⑭ボタンヘッドソケットスクリュー5x16を用いて、⑦Φ48mmメーターステー1、⑩カラー(ブラック)、⑧Φ48mmメーターステー2、⑬6角ナット5mmを規定トルクで固定します。



- 配線接続図を参考に、車体のイグニッションコイルの灰色コードに各タコメーター付属RPMコード(550mm)を割りこませ接続します。
- ※イグニッションコイルのボディーにRPMコード(550mm)が干渉しない様に車体左側のメインハーネスに沿わせて下さい。
- 配線接続図を参考に、ヘッドライトケース内のメインスイッチカプラ2P、3Pとウインカーコネクターを外し、⑨タコメーターサブコードCOMP.を接続します。

- ヘッドライトケースを逆手順でヘッドライトステーに取り付け、ヘッドライトケース内にタコメーター側のハーネスとRPMコード(550mm)を通し、配線接続図を参考に、⑨タコメーターサブコードCOMP.に接続します。
- 各接続を確認し、逆手順でヘッドライトユニットを取り付けます。

▲注意：ヘッドライトケース内は余剰のスペースが少ないので⑩タコメーターサブコードCOMP.を写真を参考に適宜⑪結束バンド150mmを使用し取り回しをして下さい。



- マイナス端子を取り付けます。
- 逆手順でバッテリーケースカバー等を戻します。
- 各タコメーターキット本体の取扱説明書に従い、メーターの設定を行います。

	05-05-0124	05-05-0125	05-05-0126
RPM信号 接続設定	1G	1G	
RPM信号 回数設定	0.5信号	0.5信号	1信号
RPM信号 種類設定	HIモード	HIモード	1:HIモード

◎この取扱説明書は弊社ホームページにPDFデータでアップしております。  
印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードし  
ご確認下さい。



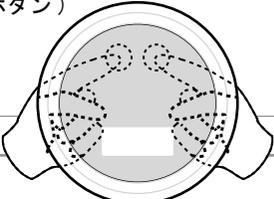
① ボタン操作方法 / メーター起動 / 最高回転数チェック方法

1

メーターの基本設定や表示切り替えは、メーター本体の裏にある2つのボタンを使用します。左右のボタンの説明は下イラストのように“文字盤を正面から見た状態”でボタンの左右を表します。又、ボタンを押して頂く際、“短押し”と“長押し(3秒)”の2種類の押し方があります。表示アイコンや押し方の表記をご確認の上、操作を行って下さい。

文字盤を正面から見た状態

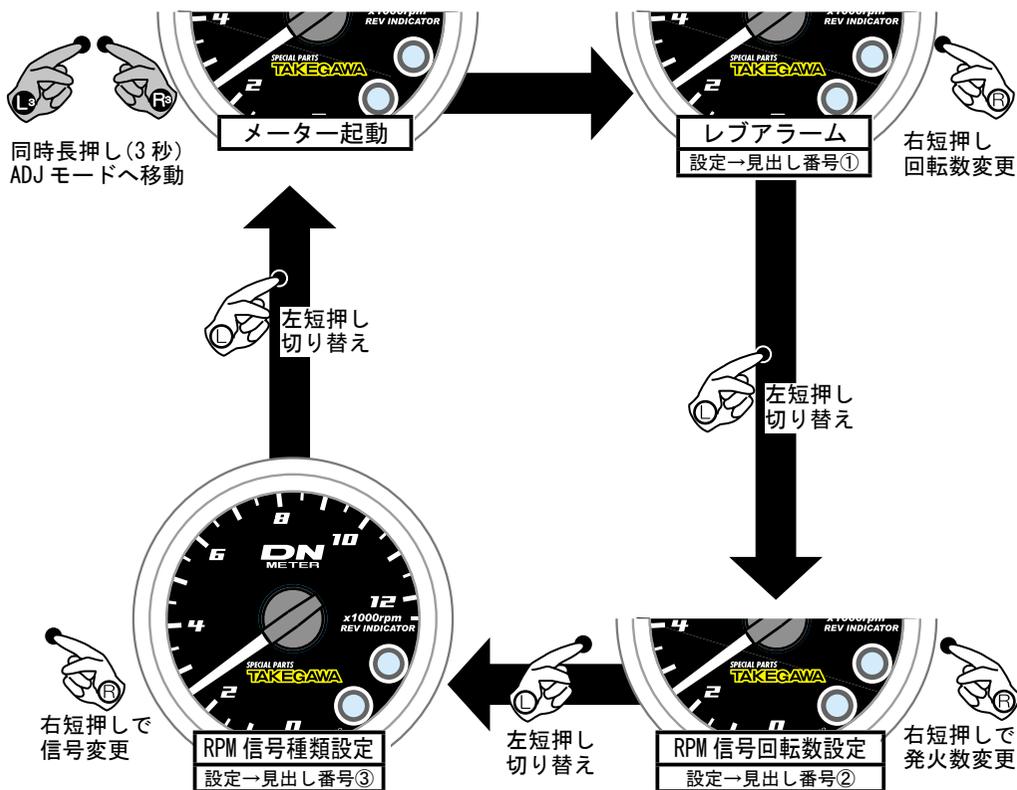
L ボタン (セレクトボタン)	R ボタン (アジャストボタン)
Ⓛ 左短押し	Ⓡ 右短押し
Ⓛ <sup>3</sup> 左長押し (3秒)	Ⓡ <sup>3</sup> 右長押し (3秒)
主にページ送り	主に値変更



- キー ON でメーターが起動します。
- L ボタン (セレクトボタン) を単押しすると、赤 LED が点滅し指針が最高回転数を指します。この時、L ボタン (セレクトボタン) を 3 秒長押しで最高回転数を消去出来ます。
- もう一度 L ボタン (セレクトボタン) を単押しすると、通常画面に戻ります。

ADJ モード (各設定)

- キー ON にし、メーターの電源を ON にして下さい。
- L ボタン (セレクトボタン) と R ボタン (アジャストボタン) を 3 秒以上同時押しで ADJ モード (各設定) に入ります。



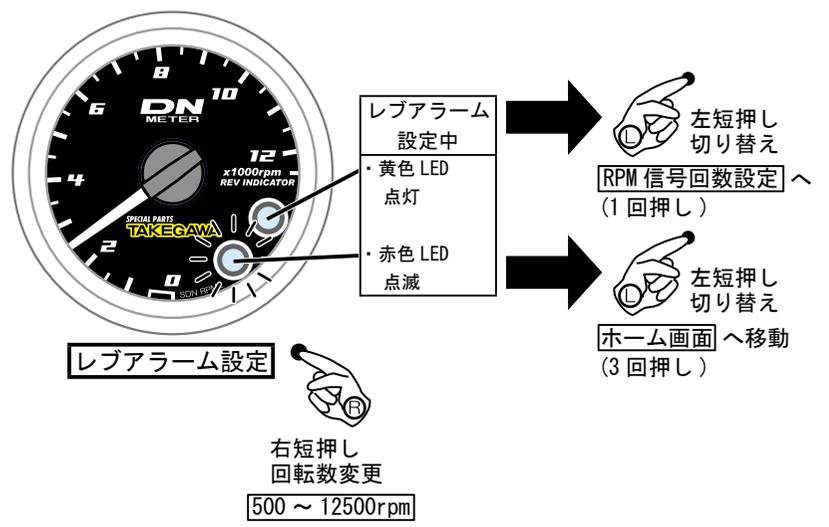
② レブアラーム設定

2

警告 作動確認前に本体の RPM 信号設定の切り替え操作を行って下さい。

● 走行中、設定回転数に -500rpm で黄色 LED が点灯し、設定回転数に達すると赤 LED が点灯します。  
LED 点灯回転数  
範囲：0 ~ 12500rpm  
単位：500rpm

設定中は黄色 LED が点灯し、赤 LED が点滅する。R ボタン (アジャストボタン) 単押しで 500rpm 単位ずつ桁を変更出来ます。12500rpm 迄行ききると、逆に -500rpm 下がります。指針位置が設定回転数になります。決定した場合は L ボタン (セレクト) 単押しして RPM 信号数設定へ移動 (※この状態では、メーター本体に記録されません。キー OFF しないで下さい。レブアラーム設定のみの設定の場合は、L ボタン (セレクトボタン) 単押し 3 回でメイン画面に戻ります。)



# 3

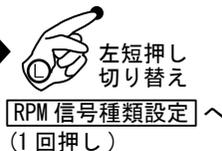
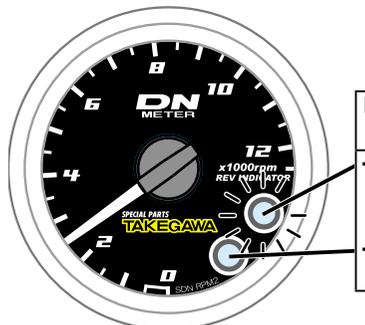
## ③ RPM 信号回数設定

**警告** 作動確認前に本体の RPM 信号設定の切り替え操作を行って下さい。

- クランクシャフト 2 回転あたりの信号回数について
  - ・ 1 はクランクシャフト 2 回転に 1 回発火を意味します。単気筒のインジェクション車が対象で、ミニバイクではアドレス V125 やモンキー FI、エイプ FI 等が適合します。
  - ・ 多くの 4 ストローク車の単気筒キャブレター車の場合クランクシャフト 2 回転当たり 2 回発火の設定 (2) になります。
  - ・ 2 サイクル 1 気筒のバイクの一部やインナーローター装着車では、クランクシャフト 2 回転あたり 4 回発火の設定 (4) の場合があります。
- ご自分の車両の発火回数が不明な場合
  - ・ まず設定 (4) に設定し、エンジンを軽くふかして表示を確認して下さい。
  - ・ 設定 (4) では大抵実際よりも少ない回転数が表示されます。様子を見ながら設定数値を下げて丁度良い設定が見つかります。



ADJ モードに入ります。L ボタン (セレクトボタン) 単押しすると、RPM 信号回数設定になります。設定中は赤 LED が点灯、黄色 LED が点滅します。R ボタン (アジャストボタン) 単押しすると指針が 1、2、3、4 の順に移動します。ご自分の車両の発火数に合わせて。決定した場合は L ボタン (セレクト) 単押しして RPM 信号種類設定へ移動 (※この状態では、メーター本体に記録されません。キー OFF しないで下さい。RPM 信号回数設定のみの設定の場合は、L ボタン (セレクトボタン) 単押し 2 回でメイン画面に戻ります。)



RPM 信号回数設定

右短押し

※ RPM 信号回数 1 に変更

# 4

## ③ RPM 信号種類設定

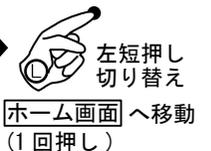
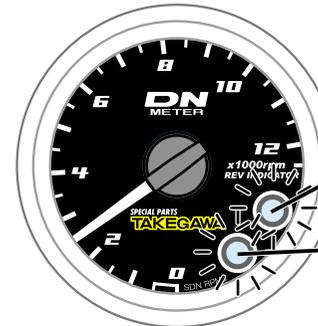
**警告** 作動確認前に本体の RPM 信号設定の切り替え操作を行って下さい。

- 読み込みプログラムの種類について
- 切り替えに Hi/Lo に切り替える事で同じ RPM コード接続方法でも正常作動する事があります。

読み込みプログラムの種類  
範囲: 指針 1 で Hi モード / 指針 0 で Lo モード



ADJ モードに入ります。L ボタン (セレクトボタン) 2 回単押しすると、RPM 信号種類設定になります。設定中は赤 LED が点滅、黄色 LED が点滅します。R ボタン (アジャストボタン) 単押しすると指針が 0、1 の順に移動します。タコメーターの指針が正常作動する方に設定します。決定した場合は L ボタン (セレクト) 単押ししてメイン画面に戻ります。(※この状態では、メーター本体に記録されません。キー OFF しないで下さい。RPM 信号種類設定のみの設定の場合は、L ボタン (セレクトボタン) 単押ししてメイン画面に戻ります。)



RPM 信号種類設定

右短押し

RPM 信号種類  
指針 1・Hi/0・Lo  
※ 1・Hi に設定します